

かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第6号 令和元年10月7日(月)

自分の命は自分で守る!

校長 井田 寿

9月28日(土)天候にも恵まれた運動会では、テーマ『「努力」「全力」「協力」～絆を深める3つの力～』のもと、子どもたちは練習の成果を思う存分発揮することができました。子どもや先生、保護者、地域の人たちも盛り上がり、まさしく感動スペクタクルな一日でした。参観して下さった保護者及び地域の皆様から温かいご声援をいただき、ありがとうございました。



【運動場のまん中に避難】

さて、9月5日(木)放課時に「地震避難訓練」を行いました。その週のどこかで、地震が起きることを想定した避難訓練を行うことを知らせていたものの、具体的な日時がわからない「予告なし」で行いました。自然災害はいつ起きるかわかりません。「予告なし」というのは、当たり前のことなのかもしれません。子どもたちが「避難訓練ふりかえりカード」に記入した内容を一部紹介します。

- ・さいれんがなってびっくりした。ほんもののじしんかとおもった。こわくなりせんせいやこうがくねんのひとをさがした。(1年)
- ・きゅうにサイレンがなって、ちょっとこわかったけどなかなか。5年生や6年生が運動場のまん中にいどうしていたから私も同じように行動しました。(3年)
- ・図書室を出たときにサイレンが鳴り困りましたが、いっしょにいた6年生の子が「近くの3年の教室に行こう」と言ってくれたので、3年の教室の机の下にもぐりました。自分一人のときでも行動できるようにしたいです。(5年)
- ・運動場にいる子たちに声をかけ、まん中に移動し、すわりました。真剣に行動し、6年生として低学年を守ってあげたいです。今日の避難訓練を生かし、本当に地震があった時にあわてないようにしたいです。(6年)

子どもたちの感想からもわかるように学校内の場所によって、一次避難の行動が異なっており、状況に応じた臨機応変な対応が求められます。本当に地震が起きた場合、普段と同じ心の状態でないことは容易に推測できます。誰もが慌てます。だから、普段の訓練のときに100点をとれなければダメなのです。大切な命に直結するので、真剣にやっていない子には真剣に注意します。いつ地震が起きても適切な行動がとれるように、普段からどういう対応をするのがよいか、**自分の命を自分で守る**ために、考えておくことが重要であることを改めて強く感じました。



備えあれば憂いなし!